

コミケビギナーのための 超・速・解 アドバイス



ついに、ついに来てしまいましたGW開催コミケット。あらゆる状況が今回限りの未知の領域過ぎますが、ここは参加者全員がコミケットに初めて参加するつもりでもう一度最新情報を集めなおし、ルールも読み直して持ち物揃えて、まっ更な気持ちで飛び込んでみては？

歴史的『はじめてのコミケット』を楽しみましょう！

■■寒さと暑さと雨と陽射しと■■

ほぼ全参加者が未体験なGWという季節に開催される今回のコミケット。これまでもGWに他の同人誌即売会系イベントは開催されているわけで、それらに参加したことがある方ならばおおよそ環境の想像がつくかもしれない。しかし特に地方から参加する方からしたら、暑いのか寒いのかという根本的な対策からしてよく分からない、というのが実情ではないだろうか。

季節的には暑すぎも寒すぎもしない絶好のシーズンではあるが、それ故にいったん天候が崩れると装備的な対応がやや難しい面もある。

ただでさえ丸一日外出したきりになるコミケットなので、真夏や真冬でないからと甘く見ず、様々な天候変動も頭に入れて参加する際の服装や装備を整えよう。

■そもそも暑いのか寒いのか■

GW時期は、統計的には晴れることが多く、その場合は日中多少汗ばむくらいの気温になり、また、1日を通して気温差のあまりない極めて快適な気候となることが多い。そういった気候であれば、例え多少待機時間が長くてもこれまでの夏コミ・冬コミのような重点的な環境対策を施さなくても何も問題なく参加することができるだろう。むしろその快適さ、楽しさに驚くくらい、文字どおりの行楽日和なコミケットが体験できる記念すべき回となる可能性は高い。

しかし、この時期は天候が急変しやすい時期でもある。4日間の会期中同じような天候や気温が続く保証はないのだ。ときには1日の中でも急激に気温が上がったり下がったりすることもあるので、基本的には快適なシーズンではあっても、コミケットという長丁場の1日を考えればやはり温度対策、突然の雨対策は講じておきたい。

●暑かったら？寒かったら？

気温の上下に対応するためには、重ね着をしてそれをその都度脱いだり着たりするのが一般的な方法だが、この方法には、**脱いだ物が荷物になる・着替えるための場所や時間を必要とする**、という2つのデメリットがあるのでできる限り、脱ぎ着をしないで快適に過ごせるか、脱ぎ着するものが少ない方が望ましい。気温変動が大きかった場合には1日のうちでも温度差が10℃を超える場合もあるし、待機を始める早朝と日中では大きな気温差があることが多いので、長時間の待機を予定している参加者は特に注意が必要だ。

そしてその温度差に大きな影響を与えるのが、風である。この時期は気温自体は高いのに風が冷たく、肌寒いという天候の日も少なくない。薄着でいたり、冬同様に首元などの開口部が大きな服だと微風でも体温を奪われやすいために、実際の気温以上に体感気温が低く感じられることがある。

そういった観点から、この時期の防寒に大切なのは**保温性能以上に、防風性能**なのだ。薄手でコンパクトに収納できるヤッケやウィンドブレーカー、薄手のひざ掛け1枚でも用意しておくこと心強いだろう。

